

平成31年3月22日

岩美町議会
議長 足立義明様

岩美町議会予算審査特別委員会
委員長 澤 治 樹

特別委員会審査報告書

本特別委員会に付託された下記審査事件について、審査の結果次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

1. 審査事件名

議案第23号	平成31年度岩美町一般会計予算
議案第24号	平成31年度岩美町住宅新築資金等貸付特別会計予算
議案第25号	平成31年度岩美町代替バス運送事業特別会計予算
議案第26号	平成31年度岩美町後期高齢者医療特別会計予算
議案第27号	平成31年度岩美町国民健康保険特別会計予算
議案第28号	平成31年度岩美町集落排水処理事業特別会計予算
議案第29号	平成31年度岩美町公共下水道事業特別会計予算
議案第30号	平成31年度岩美町介護保険特別会計予算
議案第31号	平成31年度岩美町水道事業会計予算
議案第32号	平成31年度岩美町病院事業会計予算

2. 審査結果

上記事件は、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

3. 審査日時等

月 日	審査事項	備 考
3月14日	正・副委員長選任 審査方法等協議	委員長 澤 治樹議員 副委員長 寺垣智章議員
3月15日	議案第23.24.25号	総務教育分科会
	議案第23.26.27.28.29.30.31.32号	産業福祉分科会
3月20日	2分科会委員長報告 質疑、討論、採決	

4. 審査方法

常任委員会ごとに2分科会（総務教育、産業福祉）とし、付託事件を分担して審査した。

分科会ごとの審査事件は次のとおり

総務教育分科会	議案第23号 平成31年度岩美町一般会計予算 第1条第2項（歳入歳出予算）中、 歳入 全般 ただし、産業福祉分科会所管歳出に係る歳入は除く。 歳出 1款（議会費） 2款（総務費）ただし、環境水道課所管事業費、戸籍住民基本台帳費は除く。 3款（民生費）中、1項5目（同和対策費） 6款（商工費） 7款（土木費）中、税務課・商工観光課所管事業費 8款（消防費） 9款（教育費） 11款（公債費） 12款（予備費） 第2条（地方債） 第3条（一時借入金） 第4条（歳出予算の流用）
	議案第24号 平成31年度岩美町住宅新築資金等貸付特別会計予算
	議案第25号 平成31年度岩美町代替バス運送事業特別会計予算
	議案第23号 平成31年度岩美町一般会計予算 第1条第2項（歳入歳出予算）中、 歳入 産業福祉分科会所管歳出に係る歳入 歳出 2款（総務費）中、環境水道課所管事業費、戸籍住民基本台帳費 3款（民生費）ただし、1項5目（同和対策費）は除く。 4款（衛生費） 5款（農林水産業費） 7款（土木費）ただし、税務課・商工観光課所管事業費は除く。 10款（災害復旧費）
産業福祉分科会	議案第26号 平成31年度岩美町後期高齢者医療特別会計予算
	議案第27号 平成31年度岩美町国民健康保険特別会計予算
	議案第28号 平成31年度岩美町集落排水処理事業特別会計予算
	議案第29号 平成31年度岩美町公共下水道事業特別会計予算
	議案第30号 平成31年度岩美町介護保険特別会計予算
	議案第31号 平成31年度岩美町水道事業会計予算
	議案第32号 平成31年度岩美町病院事業会計予算

5. 場 所 全員協議会室

6. 委員構成 11名

委員長	澤 治樹	委 員	森田 洋子	委 員	川口 耕司
副委員長	寺垣 智章	〃	吉田 保雄	〃	田中 克美
委 員	橋本 恒	〃	杉村 宏	〃	柳 正敏
〃	升井 祐子	〃	宮本 純一	—	—

7. 説明のため出席した者

町長	西垣 英彦	企画財政課長	田中 衛	福祉課長	大西 正彦
副町長	長戸 清	税務課長	澤 幸和	健康長寿課長	橋本 大樹
教育長	寺西 健一	住民生活課長	飯野 健治	教育委員会次長	松本 邦裕
病院事業管理者	平井 和憲	商工観光課長	飯野 学	岩美病院事務長	杉本 征訓
会計管理者	出井 康恵	産業建設課長	村島 一美	—	—
総務課長	坂口 雅人	環境水道課長	沖島 祐一	—	—

8. 主な審査事項（経過）

議案第23号 平成31年度岩美町一般会計予算

歳 入

1款（町税）について

町税の徴収と滞納整理にどう取り組んでいるかとの質疑がありました。

これに対し、税負担の公平性の観点から、厳しい姿勢で町税の徴収と滞納整理に取り組んでいる。引き続き、鳥取県地方税滞納整理機構に参加し、県と合同で「個人住民税徴収会議」を開催し、滞納整理に取り組むとの説明がありました。

町の大切な自主財源である町税の徴収にあたり、より一層の努力をするようにとの意見がありました。

4項1目（市町村たばこ税）について

平成30年度と比較して減額しているが、原因は何かとの質疑がありました。

これに対し、健康志向などによる喫煙人口の減少と、平成30年10月のたばこ税の増税による買い控えが原因と考えられるとの説明がありました。

歳 出

2款（総務費）1項1目（一般管理費）交際費について

町のホームページで公表されている平成30年度の執行状況では、100万

円弱であるが、平成31年度の予算は平成30年度と同額の200万円となっている。県知事や鳥取市長より交際費が多額なのは、町民の理解を得難いと思う。平成30年度と同額とした理由は何かとの質疑がありました。

これに対し、執行については経費の縮減に努めており、平成30年度の決算見込みは100万円程度になると思われるが、交際費は対外的な経費として支出するもので、予測のつかない部分もあり、従来どおり200万円の予算を計上しているとの説明がありました。

対外的な活動は、交際費の予算額の大小で左右されることはないと思われるので、減額すべきとの意見がありました。

1項6目（企画費）交通政策企画調整費について

ゆめぐりエクスプレスバスの運行協議会の負担金額と協議会での使途はどうなっているかとの質疑がありました。

これに対し、関係市町である鳥取市10万円、新温泉町30万円、岩美町5万円及び日本交通株式会社が15万円を負担していること、岩美町の予算では、交通政策企画調整費19万7千円のうち5万円を計上していること、使途は、バスのパンフレット作成及び新聞広告等の広報費用などに使用しているとの説明がありました。

また、「ゆめぐりエクスプレスバス」と「岩井線快速便」は関係あるかとの質疑がありました。

これに対し、それぞれの運行は別であるが、同一の車両を使用しているとの説明がありました。

同目（企画費）住宅用太陽光発電等導入促進事業費補助金について

事業費が減額となっている理由について質疑がありました。

これに対し、最近の実績を勘案して、太陽光発電設備を10件から7件に、太陽熱利用機器及び薪ストーブをそれぞれ5件から2件にしたためであるとの説明がありました。

買電価格は下がっているが、重要な施策であるため広報に努められたいとの意見がありました。

3款（民生費）1項1目（社会福祉総務費）子どもの居場所づくり推進事業費について

岩美子ども食堂は2年目となるが、事業費の内容と財源の状況はどうかとの質疑がありました。

これに対し、2年目は立ち上げ経費が不要となり、運営費助成のみを計上している。引き続き、県補助金2分の1が交付される予定であるとの説明があり

ました。

また、岩美子ども食堂の利用状況と、郵便局や「いわみ道の駅」が取り組んでいる食材の寄附について質疑がありました。

これに対し、南・西小学校からの参加もあるが、北小学校の児童が大半である。申し込みが多いため、9月に定員が20名から30名に変更された。

また、食材の寄附については、東部圏域の各郵便局が寄附を募り、圏域内の子ども食堂に提供している。いわみ道の駅については、出荷者からの寄附を取りまとめている。他にも、地元の方やとっとり子ども未来サポートネットワーク等からも提供を受けているとの説明がありました。

食材の寄附等について、多くの協力が得られるように周知に努められたいとの意見がありました。

同目（社会福祉総務費）生活困窮者自立支援事業費について

平成30年度の自立支援の状況はどうかと質疑がありました。

これに対し、31年2月末で、新規8名、継続10名の方が事業を利用されており、相談内容は、就労、住居、負債、金銭管理の問題等である。このうち、1名は相談による自立、3名は住居確保、1名は就労につながったとの説明がありました。

また、生活保護に至る前に自立支援を行うことが重要だが、今後、何を重点として取り組むのか説明を求めました。

これに対し、平成30年6月に福祉課及び岩美町社会福祉協議会が役場の各関係課と連携するため、「生活困窮者自立支援連絡会」を設置して情報を共有している。連絡会等により把握した方も含め、相談に来られるのを待っているのではなく、訪問支援等により積極的に取り組んでいくとの説明がありました。

引き続き、相談体制の充実と積極的な支援に取り組まれたいとの意見がありました。

同目（社会福祉総務費）障害者総合支援事業費について

事業費が増額になっているが、障害福祉サービスの利用状況はどうか、またその要因をどう捉えているかとの質疑がありました。

これに対し、サービス利用件数は毎年増加している。サービスの利用において、相談支援事業所等の関わりが義務付けとなり、適切なサービスの利用につながっていることも一つの要因と考えるとの説明がありました。

2目 金婚者お祝い事業費について

対象者数はどのように見込んでいるかとの質疑がありました。

これに対し、対象者を調べるには戸籍を全部当たるしかないので、前年度並

みを見込んでいる。対象者を把握するため、広報いわみや防災無線だけでなく、老人クラブにも周知をお願いしている。また、これまで申請をされてない方も対象になるので申し出ていただきたいとの説明がありました。

4 款（衛生費） 1 項 1 目（保健衛生総務費） 自死対策事業費について

自死数の推移と事業の取組内容について質疑がありました。

これに対し、毎年数名で推移している。自死を凶った人の多くにうつ病に伴う睡眠障害があることから、睡眠の大切さについて広報いわみやイベントで啓発している。また、すこやかセンターまつりにおいて、唾液アミラーゼチップによるストレスチェックを行っているとの説明がありました。

1 項 3 目（環境衛生費） 東部広域行政管理組合（火葬場費） 負担金について

事業費が減額となっているのは、智頭町の加入を見込んでのものかとの質疑がありました。

これに対し、修繕等の施設管理運営費の減額によるもので、智頭町の加入を見込んだものではない。また、智頭町が加入した場合、負担金は減額になるとの説明がありました。

5 款（農林水産業費） 1 項 3 目（農業振興費） 多面的機能支払交付金について

事業費が増額となっている理由について質疑がありました。

これに対し、活動組織が増えることによる増額で、新井集落が新たに取り組む予定であるとの説明がありました。

活動組織の事業継続には事務負担等の軽減が必要であり、広域組織への加入を促進するようとの意見がありました。

2 項 2 目（林業振興費） 森林景観対策について

森林景観対策事業の中止の理由について質疑がありました。

これに対し、この事業は、平成 24 年度から網代、田後と西から順に実施し、30 年度は陸上を実施して、町内の国立公園内を一巡した。県と巡視したが、まとまった枯れ松が無かったため 31 年度は休止とした。巡視については、継続して実施するとの説明がありました。

6 款（商工費） 1 項 1 目（商工総務費） 特定新規学卒者就職支度金補助金について

どのような制度かとの質疑がありました。

これに対し、新規学校卒業者のうち身体障害者等、就職について特に援助を必要とする者に対し、1 人当たり 2 万 5 千円の就職支度金を支給するもので、

平成31年度は、特別支援学校を卒業して就職される1名が対象であるとの説明がありました。

1項3目（観光費）国立公園内の展望所の伐採について

城原、鴨ヶ磯展望所の眺望向上のための伐採を予定しているが、自然公園法との調整はできているのかとの質疑がありました。

これに対し、国立公園内の特別保護地区であり、環境省の許可が必要なため、浦富自然保護官事務所と協議済で、現在は許可申請の手続きを行っている状況であるとの説明がありました。

景勝地であり、美観を損なわないよう適切に行うようにとの意見がありました。

同目（観光費）ゆかむりギャラリーについて

管理をどのようにしているのかとの質疑がありました。

これに対し、岩井温泉の通りに面した花屋旅館本館の一室を借りて、尾崎翠に関する資料を展示しており、年間約1,500人の入場者がある。管理は地元の旅館組合に委託しているとの説明がありました。

施設の周知はどのようにしているのかとの質疑がありました。

これに対し、観光パンフレットに掲載し、看板も掲げているとの説明がありました。

同目（観光費）ライフセーバー養成事業について

海水浴場でライフセーバーが行っている監視活動は無償ボランティアかとの質疑がありました。

これに対し、各海水浴場は監視員を配置しているが、海水浴客の多い休日にライフセーバーが加わり、救難体制の強化の役割を担っていただいている。ライフセービングクラブが行う監視活動に対して、交通費と昼食代などの補助を行っているとの説明がありました。

今後も活動を継続していくためには、有償ボランティアを考えるべきではないかとの意見がありました。

7款（土木費）2項2目（道路維持費）除雪機械運転手育成支援事業費について

事業が利用され免許取得者が増えたが、この事業に期限はあるかとの質疑がありました。

これに対し、この事業は県の補助金に町も上乘せしている事業であり、県が継続する限り支援するとの説明がありました。

8 款（消防費） 1 項 2 目（非常備消防費） 消防団員について

消防団員に欠員が生じていると思うが、補充の努力は行っているかとの質疑がありました。

これに対し、平成 31 年 4 月 2 日時点では 25 人の欠員が生じる状況なので、次回の分団長会議で改めて人員確保をお願いしたいとの説明がありました。

また、消防団員の定数のあり方について、協議が必要ではないかとの質疑がありました。

これに対し、定数については平成 28 年度に見直しを行ったが、まずは消防団と協議を行いたいとの説明がありました。

9 款（教育費） 4 項 1 目（社会教育総務費） スポーツ・文化合宿誘致促進事業費について

合宿に訪れる競技はどのような競技が多いのか。また、競技によって人数も異なるが、平成 31 年度はどのような考え方で見込んでいるかとの質疑がありました。

これに対し、室内競技ではバレーボールとバスケットボール、屋外競技ではサッカーの合宿が多い。人数は過去の実績から 1 団体当たり平均 20 人を見込み、200 万円の予算を計上している。町民の施設利用に配慮しながら取り組んでいきたいとの説明がありました。

第 2 条（地方債）、第 3 条（一時借入金）、第 4 条（歳出予算の流用）について 特に質疑、意見はありませんでした。

議案第 24 号 平成 31 年度岩美町住宅新築資金等貸付特別会計予算について
公平公正の観点から、厳しい姿勢で貸付金の回収に取り組むようにとの意見がありました。

議案第 25 号 平成 31 年度岩美町代替バス運送事業特別会計予算について

町営バス車両を 7～8 人乗り程度の車両に小型化して増便してはどうか、また女性ドライバーを募集して人材確保に結び付けてはどうかとの質疑がありました。

これに対し、現在の朝夕の利用者数を考慮すると、小型化すると対応できないこと、女性ドライバーについては男性に限らず募集しているとの説明がありました。

町民の交通手段を確保するため、議論する場を設けてはどうかとの質疑がありました。

これに対し、今後、公共交通全体について議論する場を設けて、様々な角度でより良い方法をしっかりと考えていきたいとの説明がありました。

平成31年度の委託料を増額することについては、もう少し検証すべきではないかとの意見がありました。

**議案第26号 平成31年度岩美町後期高齢者医療特別会計予算、
議案第27号 平成31年度岩美町国民健康保険特別会計予算、
議案第28号 平成31年度岩美町集落排水処理事業特別会計予算について**
特に質疑、意見はありませんでした。

議案第29号 平成31年度岩美町公共下水道事業特別会計予算について
長寿命化計画と下水道ストックマネジメントの違いについて質疑がありました。

これに対し、どちらも計画的な維持修繕及び改築を行うことで施設等の延命化を図り、良質な下水道サービスを持続的に提供することを目的としている。平成32年度までの長寿命化計画は、個別の下水道施設ごとに改築方針を定めるものであるのに対し、33年度からのストックマネジメントは、処理場、管渠、マンホールポンプ場などの下水道施設全体を一体に捉え、事業全体の最適な修繕、改築を実施するものであるとの説明がありました。

**議案第30号 平成31年度岩美町介護保険特別会計予算、
議案第31号 平成31年度岩美町水道事業会計予算について**
特に質疑、意見はありませんでした。

議案第32号 平成31年度岩美町病院事業会計予算について

岩美病院の地域包括ケアの取組について説明を求めました。

これに対し、超高齢社会が間近に迫っており、住民を支えていくためには、保健・医療・福祉等サービスを総合的に提供していく必要がある。中でも岩美病院は、保健・福祉・介護の連携施設であるすこやかセンターの核となり、牽引していかなくてはならないと認識している。

本年度から訪問診察日を週4日から5日に増やし、町内の介護施設などへの訪問も始めることとした。引き続き、地域包括ケアの中心的役割を担い、在宅支援を進めていく。

町民の命とともに、すべての町民の安全安心な暮らしを守ることが、すこやかセンター並びに岩美病院の責務であると説明がありました。

以上